

令和6年度 第5回高梁市地域公共交通会議議事録（要旨）

日時：令和7年 3月21日（金）14：00～

場所：高梁市図書館 4階多目的室

資料：・会議次第、高梁市地域公共交通会議委員名簿
・「高梁市地域公共交通計画」案について
・高梁市地域公共交通計画(案)
・高梁市地域公共交通計画(概要版)
・地域公共交通計画(地域公共交通確保維持事業)
変更認定申請について



1. 開 会

会議成立報告

2. 会長挨拶

3. 会議

議事1：「高梁市地域公共交通計画」の策定について

事務局：「高梁市地域公共交通計画」(案)の前回(1/31)からの修正18か所について説明。
本編に加えて「高梁市地域公共交通計画(概要版)」の作成について説明。

内田会長：ご質問やご意見をお願い致します。

柄折委員：53ページにバスターミナルという表記があるが、これはバスセンターと同義ですか。同義であれば統一した方がいいと思います。

事務局：正確には高梁バスセンターです。修正させていただきます。

内田会長：他にご質問が無いようでしたら、高梁市地域公共交通計画の策定について、ご承認いただけます方は拍手をお願い致します。
＜拍手多数により承認＞

議事2：地域公共交通計画(地域公共交通確保維持事業)変更認定申請について

事務局：現計画「第2次高梁市地域公共交通網形成計画」に盛り込まれている、令和7年度の地域公共交通確保維持事業期間(令和7年4月～9月)を今回策定した「高梁市地域公共交通計画」に記載したことにより変更申請が必要とまります。

内田会長：只今のご説明につきましてご質問はございますでしょうか。無いようでしたら地域公共交通計画変更認定申請についてご承認いただけます方は拍手をお願い致します。
＜拍手多数により承認＞

4. その他

事務局：公共交通計画策定に関しまして、承認頂きました本編、概要版の内容を印刷・製本する予定です。出来次第、委員の皆様へ送付する予定ですのでご確認をお願いします。
令和7年度の高梁市地域公共交通会議第1回を5月中下旬で予定させて頂きたいと思いま

す。異動等もあると思いますので、4月以降に皆様にご連絡をさせていただきます。

続いて委員の改正について、令和7年8月24日までを任期としておりますが、委員・専門員の皆様は異動等によって変更になる場合が想定されると思います。その場合は今の職種の方に引き続きお願いさせて頂く予定ですので、引継ぎ等をお願いいたします。まちづくり協議会の方も同様に変わる事があると思いますが、またお伺いさせていただきますので、引き続きご協力をお願い致します。

最後に高梁市公共交通時刻表につきまして、委員の皆様において内容校正をお願いいたします。昨年度はJRさんの協力の元、やくも号の写真や備中高梁駅の時刻を掲載しておりますが、可能であれば今年度も記載させて頂きたいと思います。

裏表紙中段の勝山～岡山線につきましては、中鉄北部バスさんに確認をしていただければと思います。4月上旬に作成をして、5月に全戸配布を予定しております。後日で結構ですので、お気付きの点ございましたらご連絡をお願いいたします。

内田会長： 事務局より来年度の流れについてと、公共交通時刻表について話がありました。時刻表については持ち帰り内容チェック頂く事になるかと思います。ご質問、ご意見等はございますでしょうか。他にございましたらお願いします。

政森委員： 12月に岡山県の県議の方と会議をしました。県議の方とバス協会と公共交通をしっかりとやっていけないといけないと話をしておりました。利用が少ないという事で、利用促進については国も県も各市町村と一緒にやっていこうと話をしております。また、1月に吉備中央町、高梁市、新見市の首長さんと私と話をした中で2市1町を対象とした公共交通に関するセミナーを開催する話もしております。4月後半に開催したいと思っており、講師の方や日付や時間も私の方で手配しますので、市民課の方もご協力をお願いします。

内田会長： 他に委員の皆様から情報提供等ありましたらお願い致します。

事務局： 利用促進についてですが、本日議会が閉会し来年度予算が通ったという事で、前々の公共交通会議にてお示ししておりましたが、JRの高校通学定期の利用補助を高梁市の高校へ通う高校生に補助を行います。路線バス利用については、市外から高梁市の高校に通う場合も該当することとなりました。昨年度は城南高校の応募が100名を切っていましたが、今年度は100名を超えており、令和7年度については高梁高校、城南高校ともに再編対象からは免れました。市の方でも協力できる部分はしていこうと考えております。

内田会長： 他に委員の皆様からございますでしょうか。

植木副会長： 今の高校生の通学補助について、第1回目の会議の際に廃止、見直しという計画で2回目の会議の際に復活したような書き方をされていたと思います。説明をお願いできますか。

事務局： 元々は事業見直しの中で事業をやめる話もありましたが、この度、高校の活性化プロジェクトが立ち上がり市外から高校生を呼ぼうという内容が協議されてきました。その中で通学補助の話が出ており、特に城南高校さんの応募が100名を切った事で積極的に市外の方にもアピールしようと進めてきました。各中学校や高校に対してオープンスクール時にパンフレットを配ったことにより、いい方向に向かったのではないかと考えております。

5. 閉 会

植木副会長閉会挨拶

以上